

排水改善の取り組み紹介

春先の融雪水や大雨がほ場内の停滞水となり、作物の生育や管理作業に悪影響を及ぼしています。

普及センターでは、根室振興局農村振興課や酪農試験場、JA中標津と連携し、ほ場の排水改善対策の取り組みを進め、効果の検証と優良モデルの波及により、地域の作物の生産性向上を目指しています。

1 排水改善の施工経過（平成 29 年度施工）

中標津町内の畑数カ所で①明きょ、②カットソイラー、③縦孔暗きょの試験を実施。



②カットソイラーとは

暗きょの働きを助けるため補助的な水みちを施工する機械です。

③縦孔暗きょとは

ほ場表面から縦穴を開け、下層への水みちをつくる技術です。

写真1 ①明きょと②カットソイラーの施工 写真2 ③縦孔暗きょの施工

2 排水性改善モデルほ場（ばれいしょ畑の縦孔暗きょ試験）の調査（平成 30 年度）

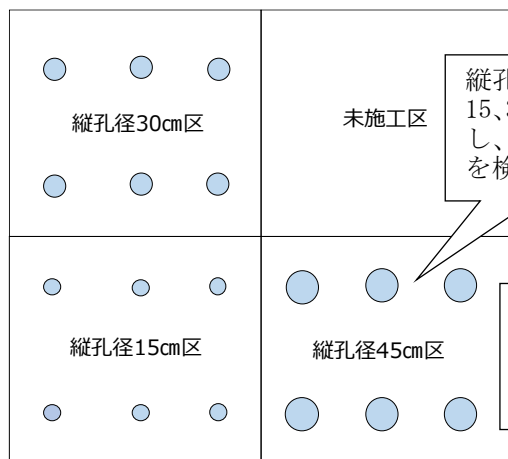


図1 縦孔暗きょ試験区の図面

試験区のばれいしょを調査した結果、「茎長」と「でんぷん価」は、縦孔施工区の平均値が未施工区を上回りました。縦孔径と収量性の検証には更なる調査が必要なため、今後もデータの蓄積に努めます。			
区分	茎長 (cm)	でんぷん価 (%)	
施工区平均	33.5	16.1	
未施工区	32.7	15.6	



写真3 試験区の滞水状況の推移

3 今後の調査（平成 31 年度）

平成 31 年度は、平成 30 年の秋に新規施工した「カッティングドレーン」の効果検証について継続して行います。カッティングドレーンとは、深さ 90 cm の位置に幅 10 cm の空洞を作る無材暗きょ工法です。



写真4 カッティングドレーン施工